

教育

○子どもの学力について、鹿児島県は全国統一模試の成績が下位である。何か対策を考えているか。

「知事」県全体で子どもの学力を上げるための方策を県教育長に指示している。考える力を養うためには読解力が必要で、小学校で本を読む時間を設けるように指示している。これからは国際化の時代なので、英語の学習にも力を入れる。

学力を上げて、子どもが自分の夢に近付くことをサポートするのがわれわれの役目である。



↑インターネットを利用した教育について三反園知事に要望する参加者

○本町でも6月から光通信網が整備される。今後、子どもたちはインターネットを通して、さまざまなことを学ぶことができるようになる。

塾に行けない子どもをフォローするプログラムの導入のサポートをお願いしたい。

「知事」市町村単位で多様な教育を実施している。町教育委員会と連携して考えていただきたい。

○県でも「SDGs（すべての人に開かれた、公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する目標）」を広げてほしい。

「知事」県でもさまざまなことで取り組もうとしている。

福祉

○町内では、小規模多機能の福祉を必要とするかが多い。福祉が充実したまちづくりを実現するため、ケアマネージャーも地域の皆さんと協力したいと思っている。

「知事」ありがとうございます。また、何かあったら相談していただきたい。



↑「車座」の意見を県政に生かすことを説明する三反園知事

「町長・議員との意見交換会」

行人岳のトイレ整備など要望

「知事と語ろう車座対話」に先んじて、「長島町長・町議会議員との意見交換会」が役場委員会室で開催され、参加した川添町長と10人の議員は三反園知事に要望や意見を述べました。川添町長、議員からは行人岳のトイレ整備への補助の要望や三県架橋および獅子島架橋の早期実現、若者の定住促進などについて意見が上がりました。

「車座対話」の終了後、川添町長が三反園知事を行人岳に案内し、景観の魅力や日本有数のツルの展望スポットであることを紹介しました。



↑三反園知事に行人岳からの展望を説明する川添町長（写真左）



↑三反園知事に定住促進の意見を求める小田勝志議員（写真左）